

## WBA世界フェザー級タイトルマッチ協賛のお礼

春暖の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、今回の世界戦のために多大なるご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。

さて、この度WBA世界フェザー級6位の細野 悟選手は、WBA世界フェザー級タイトルマッチで、同級スーパー王者のクリス・ジョン（インドネシア）に挑戦いたしました。下馬評では圧倒的に不利な状況でしたが、試合は、立ち上がりから積極果敢に攻め込み、17度防衛中の名王者と互角に戦いました。しかし、3Rに偶然のバッティングにより王者が顔面をカットし2度のドクターチェックの後にドクターストップとなりました。結果は、規定により3R負傷判定の引き分けに終わりました。試合の流れから、夢が現実のものとなりうる試合展開だっただけに、本人はもとより後援会としても悔いが残る不完全燃焼の結果となりました。

今回も世界チャンピオンの夢は果たせませんでした。三度世界戦のリングにあがることのできたのは、偏にいわき市民の皆様方からのご支援と過分なるご協賛によるものと思っております。今後のことは未定ですが、再戦のチャンスをいただければ、後援会として、今後も様々な面で支援をしていく所存でございます。皆様方にも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

末筆ではございますが皆様のご活躍とご健勝をお祈りするとともに、今後ともご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成25年4月吉日

細野 悟選手を後援する会

# ボクシング

## 細野 王座奪取ならず

### WBA フェザー級 相手負傷で引き分け

【ジャカルタ共同】世界ボクシング協会(WBA)フェザー級タイトルマッチ12回戦は14日、ジャカルタで行われ、同級6位で挑戦者の29歳、細野悟(大橋、旧磐城二高卒)はスーパーチャンピオンのクリス・ジョン(インドネシア)と対戦したが、王者がバッティンで額を深く切ったため3回負傷引き分けとなった。細野の戦績は26戦23勝(17KO)、2敗1分け、33歳のジョンは18度目の防衛を果たし、51戦48勝(22KO)、3分けとなった。

### 世界への挑戦 不完全燃焼

わずか3ラウンド、悔やまれるアクシデント：敵地に乗り込んだ細野の挑戦は、不完全燃焼のまま終わった。3回のバッティンでジョンが額から激しく出血し、主審が続行不可能と判断した。負傷ドロウという結果を出せなかったのは本当に残念」と肩を落とす。

百戦錬磨の強敵にも臆することなく、1回から接近戦で打ち合った。自分の左が当たり、相手のパンチも見えていた」と手心もつかんでいた。それだけに悔やまれるアクシデントだった。自分の頭がジョンに当

結果出せず残念  
細野悟の話 ション選手は思っていたほど強いと思わなかった。相手の目の上が切れた時の状況は分からない。結果を出せなかったのは本当に残念。(共同)

たった瞬間は「集中していたので覚えていない」と言う。大一番を前に「ぶんぶん振って、一発でも当たれば」とKOを狙っていたが、その積極性が裏目に出る形となった。

所属ジムの大橋秀行会長は「思ったよりパンチが当たっていた。そのまま続けていたら勝てた試合だった」と悔しさをにじませた。(共同)



クリス・ジョン(左)のパンチを浴びる細野悟。ジャカルタ(APII共同)